

第26回鴨叡会・生命分子化学科セミナー

- ◆講師◆ 藤崎 真吾 先生
東邦大学理学部生物分子科学科
- ◆演題◆ 細菌の細胞壁合成における長鎖アルコール・ウンデカプレノールの役割
- ◆日時◆ 平成27年1月23日（金）午後2時30分から
（1 時間程度）
- ◆場所◆ 図書館 視聴覚室（3階）

講演内容:

炭素数55の長鎖アルコールのリン酸エステルであるウンデカプレニルリン酸は、細菌の細胞壁合成において糖のキャリアとしてはたらく。すなわち細胞壁の二糖単位は細胞膜の内側から外側にウンデカプレニルリン酸に結合した形で輸送される。真核生物では炭素数が65から110程度のドリコールリン酸が糖タンパク質生合成において同様に糖のキャリアとしてはたらく。これらの長鎖アルコールリン酸エステルがすべての生物種に存在するのに対して、脱リン酸化生成物である長鎖アルコールは一部の生物種にのみ存在している。多くのグラム陽性細菌にウンデカプレノールが含まれるが、その機能について詳しいことはわかっていない。ウンデカプレノールを含まない大腸菌とウンデカプレノールを含む黄色ブドウ球菌を材料にして進めているウンデカプレニルリン酸代謝についての研究を紹介する。

多数の皆様のご来聴を歓迎いたします。

- ◆連絡先◆ 石嶋 純男（細胞高分子化学研究室）
Sumio ISHIJIMA (Lab. Cellular Macromolecule Chemistry)
E-mail: ishijima@kpu.ac.jp Phone: 075-703-5674
Kyoto Prefectural University